

90周年記念事業

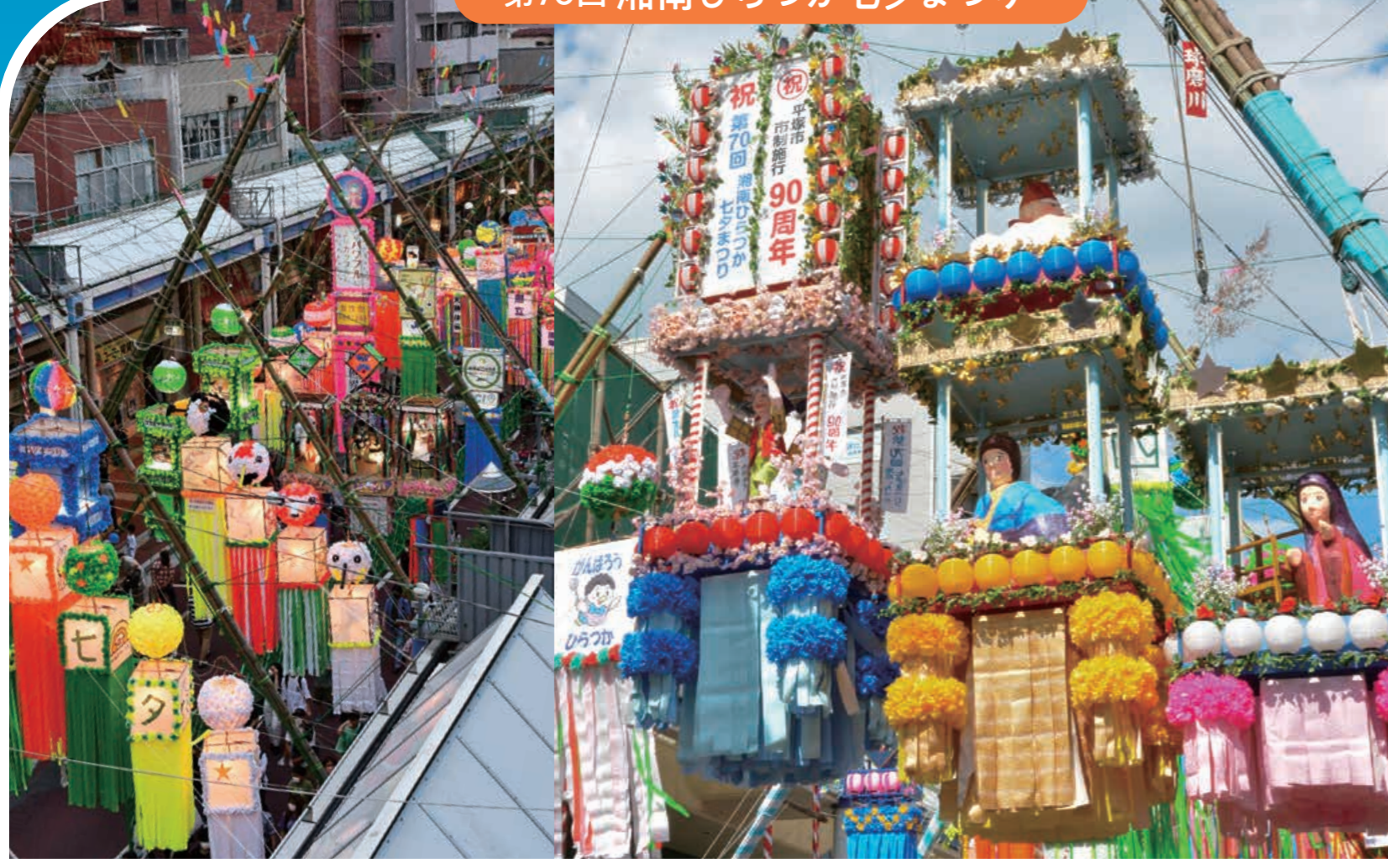
平塚の空を飾る七夕飾りが3年ぶりに帰ってきました

日本有数の七夕まつりの一つとして知られる第70回湘南ひらつか七夕まつりが令和4年(2022年)7月8日、幕を開けました。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となりましたが、七夕一色に染まる湘南の夏の風物詩が復活しました。県外からの来場の自粛要請や露店出店の中止など異例の形式でしたが、七夕飾りが彩る会場は初日から多くの来場者でにぎわいました。

初日の織り姫披露・七夕おどりパレードは湘南ひらつか織り姫の3人が乗るオープンカーが先導し、12団体約350人の踊り手が湘南スターモール商店街を練り歩きました。会場を彩った約400本の七夕飾りは、市制施行90周年を祝う文字が目立ち、大河ドラマや大リーグ選手などをテーマにした飾りが並びました。



第70回 湘南ひらつか七夕まつり



平塚市は、昭和7年(1932年)4月1日に市制を施行し、令和4年(2022年)4月1日に市制施行90周年を迎えました。節目の年を祝うため、本市では次の基本方針に沿って記念事業を行いました。

基本方針

- 平塚の歩みを再認識する
- 平塚を元気にする
- 未来の平塚に夢と希望をつなぐ

湘南の夏を彩る風物詩 こちらも3年ぶりの開催

第70回 湘南ひらつか花火大会



令和4年(2022年)8月26日、豪華スターマインをはじめとする多くの花火が多種多様に咲き乱れ夏の夜空を彩りました。

湘南ひらつか花火大会の歴史は古く、昭和26年(1951年)に地元の須賀地域で楽しまれていた須賀納涼花火大会が拡大し、現在の形に変化しています。

「二人ひとりが輝く共生のまちひらつか」

障がい児と健常児と一緒に遊び、幼少期から自然体で関わり合える、インクルーシブ遊具を備えたみんなの広場が総合公園に完成しました。

整備場所は、広さやアクセス、駐車場、バリアフリー化の対応状況、みんなのトイレの立地状況などを考慮し決定しました。ふれあい動物園やわんぱく広場に隣接した平塚のはらっぱの西側に位置するエリアとすることで、遊具同士の相乗効果を期待しています。

エントランスは優しく、柔らかな入りやすい雰囲気になるよう配慮しています。車椅子に乗ったまま遊べる「複合遊具」や「テーブル砂場」、座位の保持ができない子どもに対応した「ブランコ」、視覚障がい者に対応した「楽器遊具」や「地形遊び」の他、「回転遊具」、「スイング遊具」、「ミニハウス」など8種類



の遊具を設置しています。

遊具周りは、ゴムチップ舗装で安全に配慮するとともに、付き添い者向けにベンチや日陰棚などを配置し、ゆっくりと見守れる環境を整えました。

整備にあたっては、障がい者関係団体や特別支援学校、保育所、幼稚園などから意見を聞くなど、さまざまな意見を取り入れられました。また、整備費用の一部として、クラウドファンディングや指定寄付金など、市内外の方から協力いただきました。

インクルーシブ遊具広場整備〈総合公園〉



広場の名称は、ネーミングライツ契約を締結し、「こどもクリニックどうかい」みんなの広場としました。

90周年記念事業一覧

No.	事業名	実施場所	実施時期 (令和4~5年)
1	パネル展	市役所本館 他6カ所	各所で数日間
2	広報ひらつか特集 (令和4年4月第1金曜日号)	—	3月30日 から配布
3	リアル(写真)のゆくえ展 現代の作家たち 生きること、写すこと	美術館	4月9日~ 6月5日
4	カピバラ展示コーナーの設置	総合公園 ふれあい動物園	4月10日
5	はじめての音楽人シリーズVol.1 初めての音楽人へ 天才作曲家だって人(ピープル)だ!	ひらしん 平塚文化芸術ホール	4月29日
6	親子-KIDSシリーズVol.1 メカニカルミュージカル 「ヒゲ博士とナンセンス★マシーン」	ひらしん 平塚文化芸術ホール	5月5日
7	ご当地ナンバープレート交付	市民税課窓口	6月2日~ 11月7日
8	NHKのど自慢	ひらしん 平塚文化芸術ホール	6月19日
9	文化ゾーン3館 コラボレーション事業	中央図書館	7月1日~ 8月30日
		博物館	6月21日~ 12月11日
		美術館	7月2日~ 9月19日
10	第70回湘南ひらつか七夕まつり	平塚駅北口中心 商店街 ほか	7月8日~ 10日
11	工藤麻紀子展	美術館	7月9日~ 9月11日
12	THE PROMENADE Vol.1 東京室内管弦楽団 ぼくとわたしの コンサートデビュー&クラシカル・シネマ	ひらしん 平塚文化芸術ホール	7月16日
13	夏期特別展「野鳥愛」	博物館	7月21日~ 9月4日
14	THE PLAYシリーズVol.1 ナニコレ!?「白A テクノサーカス」	ひらしん 平塚文化芸術ホール	8月11日
15	第70回湘南ひらつか花火大会	湘南潮来	8月26日
16	平塚市・川崎市中原区コラボ 中原御殿と中原街道	中央図書館	9月2日~ 29日
17	SOMPO ボールゲームフェスタ 2022 in 平塚	ひらつか サン・ライフアリーナ	9月3日
18	わたしたちの絵 時代の自画像展	美術館	10月1日~ 11月27日
19	平塚版SDGs自分ごと化プロジェクト	公共施設・ 市内各所	10月14日 から公開
20	特別講演 中さんとの思い出 ~普段着の中勤助と代表作の考察~	中央図書館	10月15日
21	インクルージョンSTAGEシリーズVol.1 ドン!舞!フェスティバル IN 平塚	ひらしん 平塚文化芸術ホール	11月3日
22	ねんりんピックかながわ2022 ひらつか交流大会	トッケイセキュリティ平塚総合体育館	11月12日~ 14日
23	小粋な音楽人シリーズVol.1 小粋な音楽人へ 弦楽四重奏!	ひらしん 平塚文化芸術ホール	12月18日
24	屋外彫刻再発見事業	—	12月21日
25	素敵な音楽人シリーズVol.1 素敵な音楽人へ with 東京都交響楽団	ひらしん 平塚文化芸術ホール	2月5日
26	新たな湘南ひらつか名産品・ 特産品の認定	—	2月22日
27	インクルーシブ遊具広場の整備 ~多様な個性が輝く 共生のまち ひらつかを目指して~	総合公園 平塚のはらっぱ	3月19日

その他の記念事業は、
市ウェブサイトをご覧ください。



NHKのど自慢



令和4年(2022年)6月19日、平塚市とNHK横浜放送局で、「NHKのど自慢」を開催しました。出場された皆さまの元気な歌声を全国にお届けするとともに、平塚市の魅力を発信しました。



「NHKのど自慢」を開催しました!!

ご当地ナンバープレート交付

市制施行90周年を記念したご当地ナンバープレートを、枚数限定で令和4年(2022年)6月2日から11月7日まで交付しました。平塚出身のアーティスト、オノリーゼさんによる「バラのまちひらつか」をイメージした明るいデザインで、標識番号はアルファベット「I」と数字の組み合わせとなっています。



ご当地ナンバープレートを交付

市制施行90周年記念 特集展示・映像上映

中央図書館・博物館・美術館で、昭和7年(1932年)の市制施行当時に作られた作品や記念事業に関する資料を展示しました。あわせて展示内容に関するクイズラリーを実施し、3館をめぐってクイズに正解した方には、各館がデザインした缶バッジをプレゼントしました。



ねんりんピックかながわ2022



スポーツ体験



合同開始式



ねんりんピックという愛称で親しまれる第34回全国健康福祉祭が、神奈川県内で初めて開催されました。60歳以上の方を中心にしたスポーツや文化種目の交流大会が行われ、平塚市では令和4年(2022年)11月12日から14日にかけてスポーツウエルネス吹矢と囲碁を開催。当日は大会以外にも、スポーツウエルネス吹矢やポッチャなどのスポーツ体験や、プロ棋士による囲碁の指導対局の状態で把握する体組成測定や認知機能のチェックができるお手軽健康チェック、名産品販売などのさまざまな催しが開かれ、幅広い世代の方を楽しませていました。

平塚市での開催種目

【囲碁交流大会とプロ棋士による指導対局】
「囲碁のまち」としても知られる平塚では、囲碁交流大会が開かれました。56チーム160人の選手が参加し、盤上では熱い戦いが繰り広げられました。

【スポーツウエルネス吹矢交流大会】
円形的的を目掛けて息を使って矢を放ち得点を競うスポーツです。ねんりんピックで初めて開催された競技には、59チーム183人の選手などが参加しました。



合同開始式

ねんりんピックかながわ2022ひらつか交流大会を開催

- 3月 ●ひらしん平塚文化芸術ホール開館 [3月26日]
- 4月 ●市制施行90周年 [4月1日]
●新しい相模小学校開校 [4月1日]
●ふれあい動物園でカピバラ一般公開 [4月10日]
(5月26日に名前がカッピーになりました)
- 6月 ●ご当地ナンバープレート交付 [6月2日]
●リーフレット「鎌倉殿と平塚の七人」を作成 [6月10日]
●NHKのど自慢を開催 [6月19日]
- 7月 ●平塚駅北口の下りエスカレーターが完成 [7月6日]
●第70回 湘南ひらつか七夕まつり [7月8日~10日]
●湘南ベルマーレひらつかビーチパーク
海水浴場開設 [7月16日~8月31日]
- 8月 ●第70回 湘南ひらつか花火大会 [8月26日]
- 9月 ●第17回湘南よさこい祭り2022 [9月18日]
- 10月 ●第25回湘南ひらつか囲碁まつり [10月9日]
●山下・高根・万田で住居表示を実施 [10月17日]
- 11月 ●ねんりんピックかながわ2022
ひらつか交流大会を開催 [11月12日~14日]
- 12月 ●KEIRINグランプリ2022を開催 [12月28日~30日]
- 2023 1月 ●令和5年平塚市消防出初め式 [1月7日]
●ツインシティ大神地区まちびらき [1月28日]
- 2月 ●新たな湘南ひらつか名産品・
特産品を認定 [2月22日]
- 3月 ●インクルーシブ遊具広場オープン [3月19日]



【施設概要】大ホール：1,200席、車椅子席7席／多目的ホール：251.10㎡、
平土間利用：200名、仮設舞台利用：100名／大会議室A：60.00㎡、24
名／大会議室B：40.00㎡、16名／小会議室：40.25㎡、16名／和室：
21.28㎡(床の間含む)、10畳、10名／大練習室：63.48㎡、40名／小練習室
1：26.27㎡、5名／小練習室2：23.63㎡、5名／文化芸術支援室：60.48
㎡、18名／キッズルーム：36.58㎡、10名／木谷實・星のプラザ：28.35㎡

ひらしん平塚 文化芸術ホール

新たな文化芸術の創造およびにぎわいの
創出拠点として、令和4年(2022年)3月
26日にひらしん平塚文化芸術ホールが開館
しました。

1階から3階で計1,200席の大ホール
をはじめ、多目的ホールや練習室などは、文
化芸術の鑑賞や創造の場となります。また、
館内各所には、市民の憩いの場として自由に
利用できるテーブルや椅子などもあります。

さまざまな文化芸術に触れる機会を作る
とともに、多くのにぎわいと交流が生まれる
拠点を目指します。

令和4年(2022年)4月1日に平塚市
は、市制施行90周年を迎え、ご当地ナンバ
ープレートの交付などさまざまな記念事業を
実施しました。4月には、ツインシティ大
神地区土地区画整理事業地内に移転工事が
進められていた相模小学校が新しい校舎に
生まれ変わりました。また、総合公園の一
角にあるふれあい動物園では、保護されて
いたカピバラが4月に一般公開され、名前
は公募で「カッピー」に決定。休日は多くの
親子連れでにぎわっています。

新型コロナウイルス感染症の流行以来、
イベントの中止が続いていましたが、感染
防止対策などを徹底した上で、3年ぶり
となる第70回湘南ひらつか七夕まつりが開催
され、80万人が来場しました。他にも、湘南
ベルマーレひらつかビーチパーク海水浴場
の開設や第70回湘南ひらつか花火大会、第
17回湘南よさこい祭り2022なども実施
され、まちにも活気が戻ってきました。

令和5年(2023年)1月には、ツイン
シティ大神地区まちびらきが開催されまし
た。また、「一人ひとりが輝く共生のまちひ
らつか」の実現を目指し、3月には、総合公
園にインクルーシブ遊具を備えたみんなの
広場をオープンするなど、平塚市は100
周年に向けて今後も躍進し続けていきます。



ツインシティ大神地区 土地区画整理事業

ツインシティは、東海道新幹線新駅を誘致している寒川町倉見地区と、平塚市大神地区を新たな橋で結び、東西両地区が一体となった環境共生都市を形成することを目的としています。

その一翼を担うツインシティ大神地区を、平塚市総合計画や平塚市都市マスタープランにおいて、「北の核」と位置付けています。

ツインシティ大神地区は環境に配慮し、周辺道路交通網である圏央道や新東名高速道路の整備効果も活用。新たな産業の創出や魅力ある施設の誘致によって、居住人口の増加や広域的な交流連携、雇用の創出などを生み、市全体へ経済波及効果が期待できます。

平成27年(2015年)8月の平塚市ツインシティ大神地区土地区画整理組合の設立認可から都市基盤整備が進められ、令和元年(2019年)11月から物流施設などが順次開業。令和4年(2022年)4月には相模小学校が開校しました。さらに、地区中央の大型商業施設は令和5年(2023年)春の開業を目指して建築工事を進めています。今後も住宅等の建設が進んでいき、新しいまちが完成に近づいています。令和5年(2023年)1月28日にはまちの概成を祝う「まちびらき」が開催されました。

相模小学校新築工事

相模小学校は、ツインシティ大神地区土地区画整理事業による「新しいまち」と、大神地区の特色を残す「昔からのまち」の接点に位置し、これまで育んできた「地域とのつながり」を一層高めた地域コミュニティの核となる学校を目指し、建設が始まりました。

計画にあたっては、子どもたちのワークショップを開いて、子どもたちの思いを反映し、地域との関わり方についても、学校に関わる方々で意見を出し合い検討が行われてきました。

完成した相模小学校は、周辺との調和を考慮し、圧迫感の少ない2階建ての校舎となっていて、子どもたちの過ごす教室は方形屋根を採用し、1つの教室を1軒の「家」と同じスケールとすることで、地域からも、子どもたちからも身近に感じられる学校となっています。

校舎は、1階をコの字型として中庭を配置し、音楽室、家庭科室やランチルームを隣接させることで、学校活動と地域活動を融合させることもできるようになっています。また、2階へ続く大階段は、自由に座って本を読める工夫を施し、校長先生による読み聞かせを行うなど、本を通じた教育活動の向上や交流の推進を図っています。